



EL COMPAS えるこんぱす

No.
60
2026.3.31

Contents

▶ 巻頭言	p1	▶ 学生選書ツアー報告	p9-13
▶ 図書館運営委員からのメッセージ	p2-3	▶ 図書館サポーター活動のご報告	p14-15
▶ 連載シリーズ「図書館探検隊④」	p4-6	▶ 連載シリーズ「図書館活用法⑤」	p16-21
▶ 学園創立70周年記念 図書館文化企画	p7-8	▶ 図書館ダイアリー 2025	p22-24

巻頭言

「真理がわれらを自由にする」 中井正一のこと

付属図書館長 木全 和巳

2025年は、図書館法施行から75年、国立国会図書館法の成立からは77年です。『聴衆0の講演会』というタイトルで劇団民芸が中井正一の生涯を劇にしています。国立国会図書館の初代副館長に任命された中井は、図書館法成立に尽力した京都学派の哲学者です。「集団的実践的主体性の哲学」というユニークな哲学を構想しています。1936年に発表された岩波文庫に収められている「委員会の論理」は時々読み返しますが、奥が深い論考です。ドイツでナチスが焚書の祭典に興じていたころ、中井らのグループは時計台の下で反ファシズムを叫んでいました。1937年には、治安維持法違反の疑いで検挙されました。

1945年、尾道に疎開。敗戦後、尾道市立図書館館長に就き、民衆文化を興し、地方からの再生を掲げて社会教育活動を推進します。県知事選にも立候補しますが落選します。ここで『荷車の歌』で知られる作家山代巴に出会います。山代の『千代の青春』は中井の母親をモデルにしています。

1948年、参議院図書館運営委員長であった羽仁五郎の推薦で国立国会図書館副館長に就任します。羽仁は中井を館長として招聘する予定でしたが、左翼活動の経歴が問題視され、保守層からの強い反対が起こります。妥協の結果、副館長になります。できたばかりの国会図書館には課題が山積していました。激務から体調を崩し病状を悪化させ、52歳の若さでなくなります。

この中井、多くの素敵な言葉を残しています。いくつかを紹介します。

「図書館とは、文化遺産の集結である」。

「民主主義を手に入れるためには、全ての人が心の中の『あきらめ根性』『抜け駆け根性』『見てくれ根性』に象徴される封建主義を捨て去らねばならない」。

「『話せばわかる』といった犬養氏に、『問答無用!』と拳銃の引き金を引いた考え方が、真直に真珠湾攻撃に通じている。『話す』ということを見出した人類のころの中には、苦痛をのり越えてきたものの切実な祈りがひそんでいる。直接に血を流さないために、人類はここまで歩みきたったのである」。

「謬（あやま）りをふみしめることが、真実へのただ一つの道しるべとなる」。

「実践の伴わない真理は真理ではない」。

冒頭の国会図書館法の前文とともに、危機の時代には、ぜひふりかえりたい人物です。

図書館運営委員からのメッセージ ～新入生へのお勧め本～

改めて公共図書館の役割を考えるきっかけに

社会福祉学部教員 木全 和己

男子高校生でヤンキーの主人公、石平くんが、読書の面白さを思い出し、図書館に通うようになり、さらには図書館でアルバイトをするお話です。図書館で本を借りようとするが10年前に借りた本を返却していないことにより、図書館から図書館利用者カードの発行を拒否される

ところから物語が始まります。破損本の修復、棚の管理など、図書館の役割や働く人たちのことも丁寧に描かれています。「知ること」「学ぶこと」で「人生」が豊かになっていく主人公たち。図書館が大好きになる連載漫画です。

お勧めする図書



『税金で買った本』(1-17)
ずいの(原著) 系山 岡(著)
講談社 2021～2025

スポーツの価値について考えてみませんか？

スポーツ科学部教員 吉田 文久

この本は、2023年夏の甲子園で全国優勝した慶應高校野球部の監督・森林貴彦さんと、元400mハードルのオリンピック選手・為末大さんという、団体競技と個人競技という対照的な世界に関わる二人の対談をまとめたものです。古い慣習にとらわれず新しいマネジメント論に基づいて考える野球を再構築した高校野球指導者と、究極の個を追求し実践したアスリートが「スポーツの価値」について語り合う中で、共通して重視しているのが「主体性」です。つまり、「自分の人生で何を大切に、どんな目標を選ぶのかを自ら決める力」が、これからの時代にはより求められるということです。また二人は、スポーツを通して身につく主体性はじめ、スポーツマンシップ、あきらめない心、誠実さといった価値を、指導者が言葉にして伝える重要性を強調します。本書は、AI化が進む現代に生きる私たちに、競技者だけでなくスポーツを楽しむ人にとっても、スポーツという文化が「人間として、人間らしく生きること」にどのような意味を持つのかを考え直すきっかけを与えてくれます。

お勧めする図書



『スポーツは人生に必要ですか』
森林 貴彦(著) 為末 大(著)
ハヤカワ新書 2024

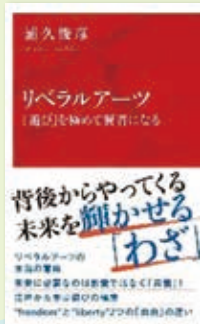
遊びをせんとや生まれけむ？

～リベラルアーツについて～

教育・心理学部教員 小坂 啓史

『梁塵秘抄』については、みなさんは高校生のころの「日本史」の授業などで聞いたことがあるのではないのでしょうか。「遊びをせんとや生まれけむ」で有名な書物ですね。ところで、私たちは本当に「遊びをしようとして生まれてきた」のでしょうか。本書では、そうだと言っています。ただし、単に楽(ラク)をするということではありません。「人生を遊びつづける」こと、その遊びの根っこには、常識にもとらわれない、自由自在に生きる精神があります。これは、本書の「リベラルアーツ」という言葉の意味にも共通するものです。達成すべきノルマ、課題、そんなものとして人生の学びをとらえすぎてしまうと、「〇〇で生きる」ということになってしま

お勧めする図書



て、「自分が生きる」ことから離れてしまうかもしれません。何かを生み出し、社会を変えるような存在とは、まさに自分を生き、興味あることを自在に追いつづける、まさに遊びつづけたらびとです。そうした、人生を生きるための技「リベラルアーツ」について、みなさんもぜひ本書で触れてみませんか。

『リベラルアーツ「遊び」を極めて賢者になる』浦久彦(著)
集英社インターナショナル 2022

日本国債の金利上昇による 財政悪化がもたらす国民生活への悪影響

経済学部教員 橋口 徹

現在、債券市場において日本の長期・超長期国債の利回りが上昇している。債務残高がGDP比で200%を優に超える我が国において(債務残高が目される米国は約120%)、国債の元利払い費用のさらなる増大や、銀行の企業等に対する貸出金利の上昇などは实体经济に負の影響を及ぼすため、日本国債の金利動向が世界的に注目される。仮に今後、日本の国債金利が上昇し続け財政運営が困難になる事態になれば、財政危機回避のための極端な歳出削減や増税を招くほか、円の通貨価値の毀損、過度なインフレ発生を通じた国民生活への圧迫リスクが生じることから、金利と表裏一体の関係にある債券について理解することは日本国民にとって必須の教養といえる。

お勧めする図書



『教養としての「債券」』
田淵 直也(著)
日本実業出版社 2025

現代社会に頻出することばの仮面を剥ぎとる

社会福祉学部教員 伊藤 文人

本書は、私たちの「社会」を考える上で頻出するキーワードに付随する、世間やお上のいう意味へ著者が批判的な考察を加え、「異なった理解の仕方（本質）」を提示しているものだ。世の中で氾濫する「…は当たり前」という言説は「なんとなく正しい」と思えるが、それを「疑うこと」から出発しようと著者はいう。なぜなら物事の「自明性」を疑わないで「社会課題」は解決できないからだ。本書は、ことば、ひと、出来事、シネマ（映画）から構成される。例えば、「教育を受ける者が学費を払うのは当たり前では？」という世間の言説に、著者は「学費」とは、「諸悪の根源」「愚かさの象徴」と読解する。なぜ「そう読める」のか？本書に登場する160の用語の理解を通じて大学での講義を「読み直してみる」ことも大学ならではの知的体験だ！

『現代社会用語集 増補2版』
入江 公康(著)
新評論 2025

お勧めする図書



認知症は「問題」ではなく「可能性」？

健康科学部教員 田口 修

『ぼけと利他』は、美学者・伊藤亜紗と介護のプロ・村瀬孝生が手紙を交わし合いながら、認知症について新しい見方を提示する本です。皆さんは、認知症って怖い、迷惑をかける、そんなイメージを持っていませんか。

この本の魅力は、認知症の問題を、人間の可能性として捉え直す視点にあります。一見すると問題とされる行動が、著者の温かい眼差しを通して語られると、その人なりの背景や意味が浮かび上がって見えてきたりします。意表を突きながらも温かく描かれていることに、驚きと共感を感じるのではないのでしょうか。聞き慣れない利他という見方からも学ぶことが多くあります。

大学生活では、これまでと違う価値観に出会う機会が増えます。この本は、著者の二人の対話を追いついていく過程を追体験することができます。「ぼけ」を通じて人間存在の豊かさについて考えるきっかけとなることでしょう。

『ぼけと利他』
伊藤 亜紗(著) 村瀬 孝生(著)
ミシマ社 2022

お勧めする図書



コーヒーで世界がわかる

国際学部教員 張 淑梅

石油に次いで世界第2位の貿易取引額を誇る商品といえば、実はコーヒーである。コーヒーは多くの国と地域を結ぶ代表的な国際商品であり、世界中の人々に親しまれてきた。なぜコーヒーはこれほど広く受け入れられてきたのだろうか。コーヒーは人々の思考を深め、議論を活発にする飲み物であり、17世紀ヨーロッパではコーヒーハウスが流行し、政治や経済を語り合う公共空間として機能した。

著者の井崎英典氏は、アジア人初のバリスタ世界チャンピオンである。本書では、著者自身の体験を交えながら、コーヒーと歴史・地理・経済・文化との関係に加え、SDGsや気候変動による「2050年問題」といった現代的課題まで、わかりやすく解説している。消費者である私たちが、コーヒーを通して国際社会のつながりや、未来のために何ができるのかを考えさせてくれる一冊である。大学新入生にとって、キャンパスにとどまらず、カフェという空間もまた学びや出会いの場になり得ることに気づききっかけとなれば幸いである。

『教養としてのコーヒー』
井崎 英典(著)
SBクリエイティブ 2025

お勧めする図書



学生生活がリアルにイメージできる

看護学部教員 藤田 佳子

看護職を目指して入学された皆さん、正解です。看護という職業は永遠です。しかし、高校の授業とは違うとは聞いていたけど、実際はどうなんだろう、と不安を抱えていますか。その不安を解消できるおすすめの本を紹介しましょう。

4つの主要テーマ（①看護師を目指すみなさんに伝えたいこと、②看護学生の「勉強」について、③看護学生の「生活」について、④看護学生の「対人関係/人間関係」について）を5名の先生が丁寧に、「読むことで問題が解決できる」ように書き下されております。全部読まなくても、目次を見て、気になったところのページを開いてみると、38ページには、「先輩学生からのエール」があります。39～40ページには、「高校までの勉強と変わるところ」

では、勉強の方法や成績（評価）についても記述されております。

隣の友人も同じ悩みを抱えている事でしょう。友人に悩みを聞いてもらうことも大切ですが、解決するためには新しい情報が必要となり、本書はその役割が十分に果たせることでしょう。

『看護学生の勉強と生活まるごとナビ 自律的に過ごすための23のレッスン』
日本看護協会出版会 2023

お勧めする図書





「浅賀文庫」展示より

「図書館探検隊④」

●朝日訴訟関連資料

朝日訴訟は、1950年代後半に結核で入院中だった朝日茂さんが、当時の生活保護費が低すぎて「健康で文化的な最低限度の生活（憲法25条）を営む権利」（生存権）を訴えた裁判です。通称「人間裁判」と呼ばれ、1960年の一審で勝訴したものの、1967年の最高裁で敗訴が確定した、社会保障のあり方を問う重要な裁判でした。その中心的役割を担った故長宏先生が所蔵されていた関連文献を整理し、取りまとめたものが「朝日訴訟関連資料」で、この裁判に係る図書、雑誌、新聞記事のスクラップのほか、貴重な一次資料など約390点を所蔵しています。展示では、朝日さん自筆のメモや写真など資料の一部を公開しましたが、通常は非公開としています。

「朝日訴訟関連資料」は集密書架に保管



● ヤジエセツルメント関連資料

本学の災害ボランティア活動の原点と言われている「伊勢湾台風」の救援活動。今から67年前の1959年9月26日、中部地方を襲った伊勢湾台風は、死者約5,000名、行方不明者約300名、家屋全半壊約12万戸という甚大な被害をもたらしました。当時本学のキャンパスは名古屋市中区中村にあり、キャンパス自体も被害を受けましたが、発災直後から、全学をあげて被災者救援活動に取り組みました。そのなかでも、伊勢湾台風で大きな被害を受けた名古屋市中区南の低湿地帯である名古屋市中区弥次衛町で劣悪な環境にある子どもたちを支援するために、名古屋大学や旭丘高等学校の学生・生徒たちと「ヤジエセツルメント」を立ち上げ、被災した子どもたちの保育活動を行いました。この活動には、浅賀ふさ先生をはじめとした当時の本学教職員も後援会に名を連ねられ、物心両面の支援にあたられました。本学のセツルメントサークルの先駆けであった「ヤジエセツルメント」は、2022年に活動休止となり、サークルが所蔵していた活動関連資料を図書館に寄贈いただきました。これらの資料からは、伊勢湾台風の甚大な被害状況と、当時の災害支援およびセツルメントの活動の一端を読み取ることができます。また、日本の学生セツルメント活動の歴史を振り返るうえで貴重な資料も数々含まれています。



資料展示の配付用リーフレットより

伊勢湾台風における本学の災害支援と「ヤジエセツルメント」の誕生 展示リスト

展示期間：2025年10月24日～11月2日 会場：日本福祉大学付属図書館 東海分館

◆PTモノ

No.	タイトル	発行年/発行日	発行所
1	昭和35年 中部一帯にも被害	昭和34年9月27日	中部日本新聞
2	日本福祉大学新聞 号外	昭和34年10月5日	日本福祉大学新聞部
3	救済新聞 No.3	昭和34年10月4日	日本福祉大学実行部
4	救済新聞 No.3	昭和34年10月4日	本部(附属会・学生会済会)
5	救済新聞 No.32	昭和34年10月4日	日本福祉大学実行部
6	集ふ手帳下災地にも救済 健・海・空から助けを求めよう	昭和34年10月4日	本部(附属会・学生会済会)
7	「子ども救済」関係の記録	昭和34年11月23日	名古屋大学2人の会・日本福祉大学付属図書館
8	伊勢湾セツルメント設立までの経過報告	昭和35年1月24日	ヤジエセツルメント
9	「ヤジエセツルメント活動の記録」	昭和35年2月	伊勢湾セツルメント
10	伊勢湾セツルメント活動の記録	昭和35年2月	伊勢湾セツルメント後援会
11	がんばりなセツルメント	昭和35年2月4日	毎日新聞 名古屋管内版
12	伊勢湾セツルメント報告 No.1	昭和35年2月22日	ヤジエセツルメント
13	伊勢湾セツルメント報告 No.2	昭和35年2月26日	ヤジエセツルメント
14	伊勢湾セツルメント報告 No.3	昭和35年2月28日	伊勢湾後援会
15	伊勢湾セツルメント報告 No.4	昭和35年3月10日	伊勢湾セツルメント後援会
16	伊勢湾セツルメント活動の記録	昭和35年3月8日	伊勢湾セツルメント後援会

◆図書・雑誌類

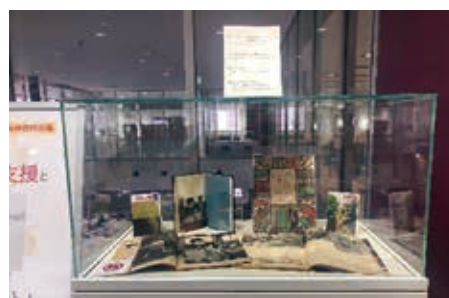
No.	タイトル	発行年/発行日	発行所
1	伊勢湾台風の記録	昭和34年11月10日	中部日本新聞社
2	伊勢湾台風の記録	昭和34年11月10日	中部日本新聞社
3	レソの子ども	昭和33年10月10日	ひんがし書房
4	レソの子ども	昭和33年10月10日	ひんがし書房
5	レソの子ども	昭和33年12月24日	ヤジエセツルメント後援会
6	レソの子ども	昭和33年12月24日	伊勢湾セツルメント
7	レソの子ども	昭和34年9月10日	毎日新聞 名古屋管内版

◆大学刊行物

No.	タイトル	発行年/発行日	発行所
1	日本福祉大学の二十五年	昭和33年4月4日	日本福祉大学図書
2	日本福祉大学30年誌	平成15年10月	学芸法人日本福祉大学



東海分館でのヤジエセツルメント資料展示より





学園創立70周年記念 図書館文化企画

「子どもと絵本とおとな～絵本の楽しさ発見！ 絵本のことならなんでも～」を開催しました

2025年11月1日（土）、学園創立70周年記念事業の図書館企画として「子どもと絵本とおとな～絵本の楽しさ発見！絵本のことならなんでも～」を美浜キャンパス図書館にて開催しました。当日は、絵本に関するボランティアの方々や、幼稚園・保育園関係者など、乳幼児からシニア世代まで61名の皆様にご参加いただきました。

講師として、1973年に名古屋でオープンした日本初の子どもの本専門店「メルヘンハウス」の2代目店主の三輪丈太郎さんをお招きしました。三輪さんは、子どもたちへの良書の普及活動や各地での絵本に関するイベントの企画運営など、多方面で活躍されています。



講師 三輪 丈太郎さん

第1部では、ロングセラーから新しいものまで、子どももおとなも楽しめる様々な絵本を紹介しながら、絵本の魅力や楽しみ方をユーモアたっぷりにお話しいただきました。絵本との関わりをはじめとしたご自身の体験や、おとなも子どもと一緒に絵本を楽しむことが大切であること、年齢に応じて変化する絵本選びのポイントなどについてご紹介いただきました。



読み語りも交えながら

●学園創立70周年記念 図書館文化企画

第2部では、ワークショップ「みんなですてきなまちをつくろう！」を行いました。1畳ほどの大きな紙に、参加者それぞれが自由な発想でまちにほしいものを描きました。世代ごとに異なる思いの詰まった素敵なまちができ上がりました。ポイントなどについてご紹介いただきました。



ワークショップ「みんなですてきなまちをつくろう！」

参加者からは、「絵本の良さをあらためて感じる事ができた」「久しぶりに絵を描くワークショップ、共同作品も楽しかった」「子どもと一緒に絵本を楽しむことを大事にしたいです」「大人になった今でも、これからも絵本を楽しみたい」などの感想が寄せられました。

また、イベント運営に参加した図書館サポーターからは「特に印象に残ったのは、子どもたちを前に集めて読み聞かせをされていたこと。子どもを自分の世界に引き込むのがとにかく上手い。私も子どもを相手にする職を志している者として、見習わなくてはならない点だらけだと感じた。」と、とてもよい学びの機会になったようです。

当日は、大学祭で賑わう美浜キャンパスで、図書館でも多くの参加者の皆さんと楽しいひとときをもつことができました。



図書館サポーターが当日の運営に参加

2025年度 「学生選書ツアー」を 開催しました!



図書館では学生参加型のイベント「学生選書ツアー」を行っています。年2回、学生有志が在学生のみなさんに読んでほしい本を書店もしくはWEB上で選書し、図書館資料として購入する企画です。

2025年度は前期15名・後期16名(書店訪問7名、Web選書9名)の学生にご参加いただきました。ここでは、後期に選書された本を紹介します。

2025後期選書ツアー レビュー



社会福祉学部3年 なべみそ

『をんごく』

家業を継がずに画家になった息子の壮一郎。姉の夫が家業の呉服屋を継ぐが、この呉服屋には恐ろしく忌まわしい風習が……。風習のせいで、死んでもなおこの世を彷徨う壮一郎の妻・倭子。成仏させようと奮闘する巫女と襟巻のユニークなキャラ、ホラーには似つかわしくない感動的なラストに注目!

横溝正史ミステリー & ホラー大賞<大賞>受賞作。

北沢陶 著 KADOKAWA 2023

社会福祉学部1年 みらい

『リボンちゃん』

マイペースで、いつも頭にリボンをつけている百花は、テーラーを営む伯母に頼まれ、「下着リメイク」を手伝うことに。その中で「それぞれに違う心と身体を持つ人びと」が心地よく生きるにはどうすれば良いのだろうと考え始め……。

登場人物がそれぞれそのまま生きてゆく姿、自分で自分らしさを愛する姿に、そっと支えられるような物語です。



寺地 はるな 著 文藝春秋 2025



教育・心理学部 1年 のすけ

『名古屋お疲れメシ通信』

名古屋版・野原〇ろし 屋〇シの流儀！元料理人の新聞記者・仁木千春が名古屋メシを紹介するコラムを書くお話。「愛知県外の人から見た名古屋メシ」を知ることができるのが見所です！

森崎 緩 著 双葉社 2025

社会福祉学部 4年 KK

『当事場をつくる - ケアと表現が交わる場所 -』

「支援する私」も「当事者」だった。「その人のために」が、いつしか「評価」になってない？相手だけに変化を求める支援は、一方的ではないか (P.57 より)。
「支援者」「障害者」のラベルを外し、ただ混ざり合う場所 = 「当事場 (とうじば)」。
「支援」の常識がひっくり返る、実践の記録。



アサダワタル 著 晶文社 2025



教育・心理学部 3年 カエデ

『THE カクテルバイブル 500』

バーに行ってみたけれど、どんなカクテルがあるかわからない…。そんな人のための1冊！！
大人のお酒の世界へのバイブル本。

北村 聡 著 日本文芸社 2025

社会福祉学部 2年 みるくてい

『月夜の黒猫事典～知られざる歴史とエピソード～』

この本はぜひすべての猫好きに読んでもらいたい一冊。なぜなら、ほぼすべてのページに猫のイラストや写真がちりばめられていて、眺めるだけで幸せになれるから。
さらに猫たちの歴史まで書かれているとなると、猫好きだけでなく歴史好きにも読んでもらいたい。
猫の囲まれたい人に贈る、猫好きのために作られたこの本をぜひ堪能してもらいたい。



ナタリー・セメニーク 著 柴田 里芽 訳 グラフィック社 2023



社会福祉学部 3年 Shunji

『アイドル力講義』

アイドル力ってどんな力？誰もが持つと言うけど、どうやって見つけるの？こんな疑問と可能性を語る一冊です。
知らなかったあなたの魅力が見つかるかも。アイドル力で世界を変えよう！

今木 清志 著 みらいパブリッシング 2025

社会福祉学部 3年 サティ

『パレスチナの民族浄化 イスラエル建国の暴力』

この本の訳者の一人である早尾貴紀先生がX(旧 Twitter)で「この本は基本書だ」とおススメしていたので読んでみたいと思っていた。

民族浄化とは、主に戦争における戦略として、大量虐殺・強制移住などの手段で特定の民族を殲滅させることを言う。この恐ろしいことをイスラエルがパレスチナ人に対して行っている。ユダヤ人はナチス・ドイツによって民族浄化させられそうになった経験を持つ民族なのに、自分たちはパレスチナ人に対して同じことを行って正当化している。そして、西側諸国はイスラエルを支援している。

日本では西側諸国の立場からの報道が中心のため、パレスチナの深層があまり知られていないと思う。イスラエルは70年以上にわたり、パレスチナ人を攻撃し、村を占領して入植地を広げ、パレスチナ人が自立できないよう農地を取り上げ、水源も取り上げ、漁業もできないようにし、外部から物資を調達しないと生活できない状況に追い込んでいる。これは日本では全く報道されていないことだ。

この本を読んでイスラエル・パレスチナ問題を正しく理解すべきだと思う。



イラン・ペパ 著 田浪 亜央江 訳 早尾 貴紀 訳 法政大学出版局 2017



社会福祉学部 1年 ますけの倉庫

『殺戮にいたる病』

えっ……この本、本当に図書館に入れてよかったの？と選んだ張本人であるにも関わらず思ってしまった。徹頭徹尾グロテスクでかなり読むのに気合いが必要だった。著者は何故こんなにも生々しく気持ちの悪い描写を書くことが出来たのか？だが、しかし、読み進めてしまう。この本はグロさだけがとりえではない。一見ホラー小説のようで怖い。おぞましい。そのような感想しか出ないと思った。読み終えた後、一瞬でもう一度読もう、となってしまった。この小説はグロテスクであると同時に、完璧に騙される叙述トリックがあったのだ!! もし心が強靱な方がいたらおススメしないが、おススメをしたいということだけ伝えよう。

我孫子 武丸 著 講談社 2017



社会福祉学部 4年 オドロキ

『日本の美しい水族館』

全国 44 の水族館を撮り下ろし写真で紹介!!
美しさと臨場感、幻想的な雰囲気を存分に味わうことができます!!
水族館巡りがもっと楽しくなる一冊です。
P.118 に名古屋港水族館が載っているので是非見てください (*^-^*)

銀鏡つかさ 著 エクスナレッジ 2022

健康科学部 1年 こな

『覆面調査員は見た！医療現場のマナー事件簿』

「技術の前にまずは接客!!」現場や実習前までにリアルな NG マナーを知って患者さんの心をつかもう!
この本は事例別に病院スタッフの視点と患者さんの視点が描かれていて、そのギャップに驚きました。技術も大事だけど技術と同じくらい接客も大事だと痛感しました。

榎原 陽子 著 日経 BP 2025



健康科学部 3年 TkTk



『乗ってるだけじゃわからない 鉄道の大疑問』

普段、何気なく乗っている鉄道。しかし、この本では乗っているだけではわからないことを学べます。
鉄道ファン・オタクに特におすすめです。
例：「駅員は終電後どうやって帰る？」→終電後のお仕事を知れる。
「新幹線の基準は？」→ある区間を○○○ km/h 以上の高速走行!!
※ミニ新幹線（山形・秋田）は？

秘情報取材班 編 青春出版社 2025

健康科学部 3年 T

『私たちはなぜ、学び続けるのか』

私たちは学生時代に様々なことを学びます。学生の時ムダに思えた科目の社会や数学も、実は点と点がつながるようになると別の分野や意外なところで役に立つのです。今は AI が社会に現れたが、AI はまとめることはできても問題を発見することは苦手です。人々は学び続け、問いを見つけることが大切なのです。

池上 彰 著 日経 BP 2024





健康科学部 1年 KR

『ゴルフお得意技ベストセレクション』

スポーツが好きで、ゴルフが上手くなるためには、実技だけではなく知識があるのかないのかでまただいぶ違うと思います、この本を選びました。詳しい知識があればより活躍できると思います。スポーツが好きな人とか、ゴルフが上手になりたい人にぜひ読んでほしいです。

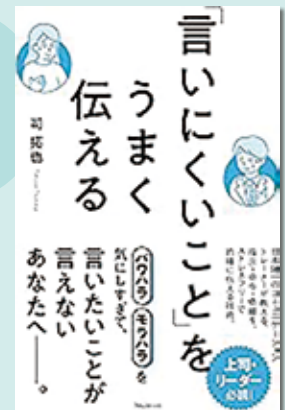
晋遊舎 著 晋遊舎 2025

経済学部 3年 みずっしー

『「言いにくいこと」をうまく伝える』

「相手の気持ちを考えすぎて、本音を言うことができなかった・・・」そんな経験があるあなたにぜひ読んでもらいたい一冊です。

司 拓也 著 フォレスト出版 2025



経済学部 1年 どどあ

『騎士道』

「戦士にとって最も恐ろしいのは、死ではなく不名誉である！」私はこの言葉が騎士道を象徴する一節だと思いました。この本は第三共和制成立直後の激動のフランスにおいて出版された騎士道研究の名著「騎士道 La Chevalerie」の邦訳です。著者は11～12世紀の雄々しい騎士道をあざやかな筆致で描き出し、心身を傾けた同時代のフランス人の同胞へ情熱的に訴えかけています。彼の紡ぐ熱に浮かれたような古の騎士道への賛美、啓蒙・・・読んでいて奮い立たされるようでとても心地が良いです。本書により「騎士」を世の中に幾人でも生み出すことができたならば、それこそが私の幸せ。

「騎士道」という言葉を聞くと、皆様は何を想起されるでしょうか？それは往々にして優美に盛装した白馬の騎士であろうし、あるいは紳士の立ち居振る舞いや、人によっては貴婦人との宮廷愛かもしれない。しかし、こうした要素はすべて騎士道に後からくわえられた不純物に過ぎない。騎士たちが歴史上最も輝かしく活躍した中世における古の騎士道は、我々が一般に思い描くよりはるかにストイックで蛮骨な規律でした。

レオン・ゴージェイエ 著 武田 秀太郎 訳 中央公論新社 2020

図書館サポーター 活動のご報告

2025年度は、美浜17名、半田6名、東海3名（計26名）と、たくさんの学生が図書館サポーターの活動に参加してくれました。サポーターのみなさん、1年間、お疲れさまでした。
2026年度もよろしくお願いいたします。



2025年度に取り組んだこと

1) サポーター企画展示（7月～3月末）

サポーターがさまざまなテーマを設定し、選んだ書を各キャンパス図書館コーナーに展示（貸出）しました。

〈展示テーマ〉

映像化された本、サポーターおすすめ本



美浜本館 / サポーター企画展示より テーマ「映像化された作品」

2) 本のお楽しみ袋（12月～1月末）

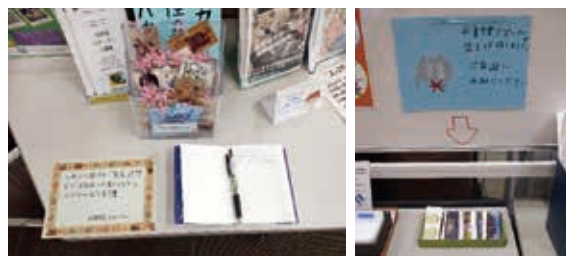
サポーターお勧めの本を入れた「お楽しみ袋」をつくりました。

何冊か選び、その本を「袋」に入れてあります。どんな図書が入っているかは借りてからのお楽しみです。

3) しおりづくり /

図書館カウンターでの配布（12月）

サポーターによるクラフト作品です。作成したしおりは図書館カウンターで配布いたしました。



美浜本館 / しおりづくり

半田分館 / しおりづくり

4) 同人誌づくり（9月～3月）

サポーターが執筆した小説などを同人誌としてまとめました。



図書館サポーター / 同人誌づくり (vol.2/vol.3)

図書館サポーター活動報告

図書館サポーター活動を振り返って

社会福祉学部 4年 杉本 美希

図書館サポーターとして過ごした時間を振り返ると、とにかく“楽しかった”という気持ちが一番に浮かびます。私は昨年度に活動へ入り、今年度で卒業という短い期間ではありましたが、サポーターたちと過ごす時間は学校生活の中でも特別なものでした。今年度は多くの一年生が入ってきてくれたことで、活動が一気にあかるくなり、みんなで企画を進める時間が増えていきました。特に、同人誌作成は多くの人が挑戦し、それぞれの書きたい気持ちや個性が光っており、完成品を読んだ時にその良さを強く感じました。展示企画や栞作りも授業の空き時間に集まってPOPや栞作りを行ったり、細かい作業をみんなでワイワイ進めたりして、とても充実した時間でした。授業で忙しい時は、個別に準備を進めたり、興味のある企画だけに参加したり、事前にLINEで連絡を取り合ったりすることで、スムーズに動けたのでとても良かったです。また、ビブリアバトルや他のイベント企画、同人誌にもより力を入れて進めていくそうなので、これからも盛り上げていってくれることを楽しみにしています。来年度はもっと仲間が増え、みんなのやりたいことに挑戦できるサポーターになってくれたら嬉しいです。

前期



後期



三省堂書店にて/図書館サポーターも選書ツアーに参加

サポーター活動を振り返って

経済学部 1年 どどあ

一年間を振り返って思うのは、もっとやれることがあったなという後悔です。授業がある期間はほぼ毎日図書室に足を運び、休暇期間もたまにですが自習のため来ていたのに、お世話になった図書館に私は何も還元できていないという残念さが残ります。

企画展示は一番力を入れて行ないたいと思っていましたが、その下調べとなる展示図書の選書に時間をかけすぎてしまい結果になっていないという現状です。勉強の息抜きによく図書室の本や雑誌を読んでいたのですが、分野としてまとめられるほど冊数を読んではおらず展示になりえるほどの主題を持たせられませんでした。来年度はもっと計画的に企画展示の頻度・回数を高めコンテンツを充実させたいです。

また書店に出向いての学生選書ツアーについてはとても楽しく充実感もあり、良い本を選べたかなと思います。企画展示で苦労した主題の設定についても、書店の棚構成を直接見ることのでられたヒントが多くあり、来年もぜひ参加したいです。



東海分館/サポーターによる企画展示「多言語多文化共生社会」 半田分館/サポーターによる企画展示「1年生におすすめの本」

図書館サポーターの活動を通して

健康科学部 1年 中町 光希

私は今年、図書館サポーターとして活動したことは栞作りです。半田キャンパスが写った栞を作成しました。半田キャンパスの栞を作成した理由は、本を読む人にとって半田キャンパスが思い出に残るような栞を作りたいと思ったからです。私は、栞作りを通して、栞を使うことで本を大事に使ったり、読み続ける意欲につながると感じました。

私が図書館を利用して感じたことは、半田分館では図書館を勉強する場として、利用する人が多いということです。来年度の活動として、図書館サポーターが勉強に活用している本や専攻別で先生のおすすめの本を展示したいと思いました。また、図書館において、季節感を感じられるような切り絵などの装飾、展示にも取り組んで行こうと考えています。



半田分館/図書館サポーターと一般学生らが一人10冊まで選書した学生選書コーナー

図書館活用法⑤

さあ、電子リソースにアクセスしよう！

レポート・論文執筆に役立つ電子リソース活用術 ～初めてでもすぐ使える電子リソースをご紹介します～

❖本学図書館の電子リソースとは？

まずは全体像をつかもう

本学図書館の電子リソースには、大きく分けて4つのジャンルがあります。本学図書館のホームページからアクセスすれば、図書・雑誌・新聞・研究論文などの冊子資料を電子リソースで閲覧することができます。また調べたいテーマについて記載された箇所や記事をキーワード入力ですばやく検索することも可能です。

ここでは、本学図書館で閲覧可能な電子リソースのあらましを簡単にご紹介いたします。なお、電子リソースは利用できる対象者が本学の学生や教職員に限られている場合がありますので、詳細は図書館ホームページをご覧ください。

電子リソース4種 <タイトル数は2026年2月時点>

電子リソースには、それぞれの特長があります。

書店などの専門業者から本学図書館が購入したものや本学以外の大学研究機関などが独自に運用しているものなど、その種類もさまざまです。ここでは、それぞれの代表的なタイトルを取り上げてご紹介いたします。

【本学図書館で利用可能な電子リソース】

電子ブック（約5,900冊） = 本をオンラインで読む

新聞記事データベース（6種） = 国内の新聞記事を検索する

雑誌記事・論文データベース（国内13種、国外17種） = 国内外の大学・研究機関の雑誌論文を検索する

データベース検索で個々の電子ジャーナルにアクセス可能

電子ジャーナル（国内約1,800タイトル、国外約3,100タイトル） = 専門雑誌を読む

電子リソースは レポートの質を高める強力な味方

電子リソースを使う前のチェックポイント！

- (1) まずはPCを学内ネットワークにつなげる
 - ・学内ではWi-Fi (nfuedu) につなげておく
 - ・学外からはVPN接続または学認でログインする
- (2) 本学図書館のトップページを開く
- (3) 本学図書館の電子リソース（バナー）を選びクリックする

電子ブックの使い方

まずは電子ブックから試してみよう！

本学図書館では各学部教育に係る主題分野のほか、一般教育や小説などの文芸書に至るまで、すべての主題分野にわたる最新の電子ブックタイトルを購入し、充実をはかっています。

電子ブックと冊子図書とは、どちらか一方が優れているというよりも、役割が異なり、相互補完的に利用できる存在です。「電子か紙か」ではなく、「目的に応じてどう使い分けるか」が使い方のポイントといえます。両者を組み合わせて、自分流に賢く利用しましょう！

- (1) まずは『図書館トップページ』からアクセス！

▶ <https://library.n-fukushi.ac.jp/library/>

5つの電子ブックサイトで購入タイトルが閲覧可能です！



- (2) OPAC 所蔵検索（カテゴリ検索）が便利です！

『電子ブック所蔵タイトル一覧』による主題別タイトル一覧から読みたい電子ブックを探してみよう！

▶ <https://library.n-fukushi.ac.jp/opac/category>

【電子ブック】の特長は？

- (1) 検索性が高い
キーワード検索で必要な箇所即アクセス可能
- (2) 場所・時間を選ばない
自宅や移動中でも、24時間利用できる
- (3) 同時アクセス数1が基本
他者が利用中でも時間をおくとアクセスできる
- (4) アクセシビリティ
文字拡大、読み上げ機能など、学習支援機能が充実

電子ブックはこんなときにおすすめ

- ✓ 重たい冊子図書を持ち歩きたい
- ✓ 学外から必要なタイミングでアクセスして読みたい
- ✓ OPAC検索した流れで、いろいろな専門書に目を通したい
- ✓ レポート・論文作成時の必要箇所をすばやく参照したい

【冊子図書】の特長は？

- (1) 一覧性・俯瞰性が高い
ページをめくりながら全体構成を把握しやすく、目次・索引・章立てを直感的に理解できる
- (2) 偶然的発見（セレンディピティ）がある
本棚を眺めることで、目的外の関連書に出会える
- (3) 一定の期間本を借りてじっくり読める
通学生なら2週間、10冊まで

紀伊國屋書店 KinoDen



- ✓ 学術専門書が豊富
- ✓ PDFダウンロードが可能
(タイトルごとに条件は異なる)
- ✓ スマホ向け専用アプリが便利



(紀伊國屋書店 KinoDen トップページ)

丸善 eBook Library



- ✓ 学術専門書が豊富
- ✓ PDFダウンロードが可能 (タイトルごとに条件は異なる)
- ✓ 動画がメインの電子ブックもある



(丸善 eBookLibrary トップページ)

紀伊國屋書店 librariE



- ✓ 小説・文芸など一般書中心
- ✓ 大学アカウント・パスワードでアクセス可能
- ✓ VPN接続が不要



(紀伊國屋書店 librariE トップページ)

講義推薦図書や推薦文献など

電子ブックで可読可能なタイトルも充実中

本学図書館では、「講義推薦図書」や「教育・心理学部履修カルテ 推薦文献」など、授業で指定される図書も、「電子ブック」で出版されているかどうかを随時チェックし、可読タイトルの充実をはかっています。

書名	著者	電子ブック	出版社	発行年	可読性
発達心理学	森田 孝之	あり	小学館	2019	可読
発達心理学	森田 孝之	あり	小学館	2019	可読
発達心理学	森田 孝之	あり	小学館	2019	可読
発達心理学	森田 孝之	あり	小学館	2019	可読
発達心理学	森田 孝之	あり	小学館	2019	可読

(履修カルテ 推薦文献は「図書館ホームページ」からも参照可)



(電子ブックで利用可能な「講義推薦図書」も少しずつ充実中)

❖電子ブック以外の電子リソースも試してみよう！

新聞記事データベース

例えばこんなときにおすすめ

- ✓ 過去のニュースや事件、最新の出来事について調べたい
- ✓ 経済動向や社会問題について調べたい
- ✓ 企業情報を調べたい

日経テレコン

日本経済新聞が提供する総合ビジネス情報データベースサービスです。日本経済新聞記事のほか、雑誌記事、企業情報、人事情報などを検索できます。

- ✓ 日経新聞の過去記事（1975年～）
- ✓ 企業データベースは上場・有力未上場企業（約2万社）
- ✓ GDP、為替、国際収支等の経済指標、都道府県の人口・財政データ



(日経テレコン「ニュース・最新情報」ページ)



(日経テレコン「企業検索」ページ)

朝日新聞クロスサーチ

朝日新聞の最新記事（今日）から過去記事まで横断検索できるデータベース

- ✓ 最新ニュースから過去の記事まで信頼性の高い一次資料を入手
- ✓ 1985年8月以降～今日までの記事が全文検索可能
- ✓ 1879年以降（明治時代）の記事まで遡れる



(併用のすすめ／電子化されていない新聞・雑誌は閲覧室で)

【朝日新聞クロスサーチ トップページ】



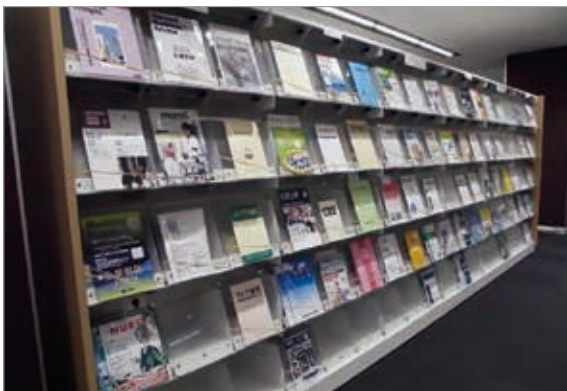
「最新号」をクリックし、朝刊・夕刊などのテキスト記事をチェック



雑誌記事・論文データベース

レポートや論文で書こうとしているテーマについて、なにか参考となる文献がないか探したい！そんなときに図書や電子ブックだけを探すのではなく、「雑誌記事・論文データベース」や「新聞データベース」などの電子リソースを使うと、レポートが格段にレベルアップします。

電子リソースにより、紙リソースだけでは得られない情報が大量に手に入ることで、レポートや論文の質をきっと大きく向上させてくれるでしょう。



(これらの雑誌記事もデータベースで検索可能)

本学図書館で利用できるデータベース一覧

ここから図書館データベースにアクセスできます

▶ <https://library2.n-fukushi.ac.jp/dbase.html>

データベース名	概要	利用可能	利用可能期間	利用可能時間	利用可能場所
朝日新聞クロスサーチ	朝日新聞の最新記事（今日）から過去記事まで横断検索できるデータベース	○	常時	24時間	全館
雑誌記事・論文データベース	レポートや論文で書こうとしているテーマについて、なにか参考となる文献がないか探したい！そんなときに図書や電子ブックだけを探すのではなく、「雑誌記事・論文データベース」や「新聞データベース」などの電子リソースを使うと、レポートが格段にレベルアップします。	○	常時	24時間	全館
...

CiNii Research

日本最大級の学術情報ポータル

雑誌記事・論文データベースのなかでもおすすめしたい電子リソースが、『CiNii Research』です。「どのような学術論文や研究データなどが公開されているのか知りたいが、探し方がわからない。」「あの大学の、あの先生が書いた論文や雑誌記事などを見たい！」というようなときの強い味方です。

日本語収録論文の多さが最大の特長

『CiNii Research』は、国立情報学研究所（NII）が提供する学術情報検索サービスです。論文・研究データなど、学術情報を横断的に探すことができます。国内大学および企業などの研究所・研究機関に所属する教員・研究者が執筆した論文（約 354 万件以上）を横断的に検索し、その全文を「電子リソース」で閲覧することができる、たいへん便利な文献検索ツールです。各大学や研究機関発行の研究紀要、学術雑誌などの個々の紙リソースを探すことなく、無料かつ PDF で読める論文が多い点が特長です。

メディカルオンライン

医療・看護・リハビリなど国内の学会・出版社が発行する医療・看護系雑誌を横断検索できる国内最大級データベースです。PDF でダウンロード可能な論文が豊富、また電子ブックの購入タイトルも閲覧可能です。

例えばこんなときにおすすめ

- ✓ 病気の治療法、医療制度などに関する最新の情報をチェックしたい
- ✓ 医療・看護系雑誌のバックナンバーを閲覧したい
- ✓ レポート作成にあたり先行の論文記事を調べたい
- ✓ レポート作成で根拠となる資料やデータを探したい



(メディカルオンラインのトップページ)

例えばこんなときにおすすめ

- ✓ レポート課題のテーマに関連する研究論文を探したい
- ✓ キーワード検索だけで関連テーマの先行研究を網羅的に把握したい
- ✓ 日本語の信頼できる学術情報を入手したい

「まず何から調べればいいのかわからない…」という人はとりあえず CiNii でキーワード検索してみよう!



(CiNii Research のトップページは至ってシンプル)

東洋経済デジタルコンテンツライブラリ

東洋経済新報社の主要刊行物を検索・閲覧

東洋経済新報社の主要刊行物を検索・閲覧できるデータベースです

- ✓ 『就職四季報』 企業の採用実績、離職率、待遇などが詳しい
- ✓ 『会社四季報』 決算情報、事業内容、業績推移などの企業データ
- ✓ 『週刊東洋経済』 経済トレンド、社会問題、産業分析などの記事



(デジタルコンテンツライブラリのトップページ)

電子ジャーナル

雑誌記事・論文データベース（国内13種、国外17種）による検索で、個々の電子ジャーナルにアクセス可能です。現時点で国内約1,800タイトル、国外約3,100タイトルの学術雑誌・専門雑誌などを読むことができます。可読雑誌タイトルは、各データベースサイトから確認できます。



（東洋経済デジタルライブラリーから閲覧可能な雑誌の一覧表示画面）



（「週刊東洋経済」をクリックするとビューアーで閲覧可能）

❖これだけは知っておきたい！ 電子リソースの利用ルール

電子リソースをレポート・論文に使うときの大切なルールです。

電子リソースにも“著作権”があります

電子ブック・電子ジャーナル・新聞記事データベースは、冊子資料と同様に「著作権」があります。電子リソースはとても便利ですが、著作権に配慮して正しく使うことが必要です。電子リソースを利用する際には、著作権法および各提供元の利用規約やプライバシーポリシーを必ず確認・遵守しましょう。

以下の行為は多くの提供元で禁止されています

不正利用とみなされた場合は、利用者本人だけではなく大学全体に対する利用停止・契約解除など、重大なペナルティにつながる可能性があります。大学が契約している電子リソースは、個人による利用だけが許可されています。

重大なペナルティにつながる事柄の例

著作権等を侵害する利用や利用条件に反するダウンロード・加工利用などが禁止されています。

- 個人による学習・研究・教育以外の目的での利用
- IDやパスワードの第三者への提供・通知
- 利用権限がない者への送付、複製物の配布・拡散
- 大量のファイルを一度にダウンロードする
- 大量に印刷して配る
- SNSに画像アップする

やってよいこと（冊子資料と同じです。）

- レポート作成のために個人で読む
- 必要な部分を自分の言葉でまとめる
- 引用ルールに沿って短い文章を引用する

❖レポート・論文作成の心得

電子リソース、冊子資料を問わず、レポート・論文を書くうえでは以下の点を心得ておく必要があります。引用のルールを守り、自分の言葉に置き換えてレポート・論文をまとめましょう。

引用の基本ルール

- ✓ 必要な部分だけ短く使う
- ✓ 引用したい部分には、引用符「」をつける
- ✓ 出典を必ず明記する
- ✓ 自分の文章がメインになるようにする

NG事項

- ✗ 自分の考えとして提出 → 盗用
- ✗ 引用のルールを守らない → 不正扱い

何かわからないことはカウンターまで！

図書館カウンター窓口で遠慮なくお問い合わせください。

図書館ダイアリー 2025

◎ 学修支援の取り組み

図書館は学生一人ひとりの学びを応援します！

取り組み	時 期	実施館	実施内容
図書館利用セミナーの開催	4月～1月	全館	クラス・ゼミなどの授業科目における図書館利用セミナー実施
学修支援レファレンス相談窓口	4月～3月	美浜	相談窓口の設置
レポート・論文作成関連展示	4月～3月	美浜 / 半田 / 東海 / 名古屋	レポート・論文作成、大学での学習方法等に関する図書の展示
講義推薦図書コーナー書架の設置	5月	美浜 / 半田 / 東海	2025年度開講科目に対応した講義推薦図書の配架
学生選書ツアーの企画実施	5月、10月	美浜 / 半田 / 東海	学生による書店選書 / web 選書
レポート論文作成講座の実施	6月、10月	美浜	卒業論文の書き方をテーマにした学生向け講座の開催
試験期に対応した図書館開館延長	2月、3月	東海	

◎ 図書館資料の利用促進／デジタルライブラリー推進の取り組み

図書館を大いに活用しよう！

事 柄	今年度の取り組み	内 容
電子ジャーナル・図書館データベースサービスの提供と利用促進	○アンケート調査による購読タイトル見直し（6～9月）	利用ニーズの変化に対応するため、毎年度教員へのアンケート調査を実施、購読タイトルの見直しを行っています。また利用促進のための説明会なども開催しています。
電子メディアの利用促進	○電子ジャーナル「dマガジン for biz」無料トライアル実施（10/1～11/29）	
	○教職員を対象とした電子ブック利用体験会開催（2/19）	電子ブック（KinoDen、librariE）について、紀伊國屋書店様に電子ブックの閲覧方法、便利機能をご紹介いただきました。
貴重書のデジタル化推進	○「草鹿家文庫」のデジタル化推進	和漢三才図会（15冊）、里見八犬傳（18冊）をデジタル化しました。
社会福祉資料の収集 本学創設当初より社会福祉資料を収集しています。その数は、およそ19,000点です。	○社会福祉研究の領域は、関連分野を含め多様であるため、毎年度自治体や社会福祉協議会などに対して寄贈依頼を行います。	主に以下のような資料を収集しています 1) 国の政策に関する資料、審議会・研究会等の資料、各省庁の部・局発行資料、行政要覧、実態調査報告 2) 各県、市区の民生関係事業報告 3) 社会福祉協議会等の事業報告 4) 主要な社会福祉関係機関団体の年次報告

◎ 企画展示コーナーのご紹介

読書への誘い

「図書館所蔵の図書・資料をぜひ利用してほしい」……

そんな思いを込めて、季節や月ごとに「企画展示コーナー」を設置しています。

美浜・半田・東海キャンパスと、それぞれの特色や個性で展示される図書は「館外貸出」もOKです。

気になる本は、どうぞ遠慮なく「手にとって」ご覧ください。

(企画展示テーマ一覧)

時 期	美 浜	半 田/名古屋	東 海
4～6月	大学生生活をよいものに！	大学生活スタート！ 図書館を利用して視野を広げよう(半田)	講義推薦図書の紹介
	レポートなんか怖くない	大学院生のためのレポート・論文の書き方(名古屋)	寿齢讃歌
	江戸の文化／望む→臨む→挑む	環境と自然保護(半田)	レポート・論文を書くために
7～9月	“匂い”と“香”／冒険の書		WYM (World Youth Meeting)
	漫画・イラストから学んでみよう		
	倫理のオハナシ		
10～12月	先輩が選んだ選書ツアー本／心に響く・詩	どうなる？どうする？人口減少社会(半田)	看護授業関連； バイタルサイン／看護研究計画書
	防災・減災 ～いのちとくらしをまもるために～		防災・減災 ～いのちとくらしをまもるために～
	依存症／読書の秋 ～100分de名著を読み解く～	防災・減災 ～いのちとくらしをまもるために～(半田)	睡眠を正しく理解し心と体を整えよう
	生きづらさって／昭和100年		大同窓会；寿齢讃歌(木之下先生)、 浅賀文庫、ヤジエセツルメント
1～3月	日本語掘り下げ／「うま」い本	新年度に向けて自分磨き(半田)	看護授業関連；実習応援
	毒／能・狂言 入門		

2025年度 各キャンパスの企画展示より

美浜本館

レポートなんか怖くない

2025年5月



三輪丈太郎さんおすすめ絵本

2025年11月



半田分館

大学生活スタート！

2025年5月



環境と自然保護

2025年6月-7月



名古屋分館

2025年4月-5月

大学院生のためのレポート・論文の書き方



東海分館

2025年10月

看護研究計画書



ノーベル賞受賞関連ピックアップ

